



とよかわの

みつけた!



本宮山の奇岩の一つ国見岩

標高 789 ㍎の本宮山は、山頂に三河の国の一宮である砥鹿神社の奥宮があることで有名ですが、奇岩があることでも知られています。その一つに国見岩（別名「天の磐座^{（いろくら）}」）と呼ばれている岩があるのをご存知でしょうか。

国見岩は、山頂の駐車場から南へ歩いて数分のところにある石垣で囲まれた大きな岩です。国見岩の名は、国土開拓の神として尊ばれる大己貴命^{（おおなむちのみこと）}が、穂の国をつくるにあたり、この岩から国見をしたところから名付けられたそうです。石垣に囲まれた部分は、国見岩のほんの一部で、横にある急な階段を下りていくとこの岩がいかに巨大であるかが分かります。さらに階段を下りたところにある岩の間の空間には、大己貴命を祭った岩戸神社があります。岩戸神社へ向かうには、急勾配や足元が悪いところもあるため細心の注意が必要です。

澄み切った空気の中、本宮山へのハイキングで山頂から少し足を延ばして、奇岩の一つを見つけてはいかがでしょうか。

